

少庵堂

少庵堂は下段の庭の道を歩いていくと最初に出会う茶室であり、1920年に建てられた。茶人の千少庵の名にちなんでその名がつけられ、千少庵の木造の像が収められている。千少庵は日本における茶の湯の普及に大きな功績を果たした茶人の千利休（1522～1591年）の養子である。